

アトピーや病気は本人の持つ免疫で治すもの。  
リバウンドに耐えて完治を目指すお母様の手記。

## 「アトピー完治を目指して」

三好遼河（お母様記述）2歳

2016年9月15日

（※ 赤字 松本院長 解説）

～松本医院に行くまで～

生後3ヶ月に顔に湿疹。（11月）

ステロイドを使いたくなかったのでオリーブ油やベビーオイル、ローションで保湿をしていたが、よく掻くようになったので、小児科に行った。脂漏性湿疹で乳児はよくなるものだと言われ、ステロイドを拒否すると亜鉛華軟膏と消毒液を出された。治らなければステロイド使ってくださいと言われる。

4ヶ月（12月）

両頬から汗が出るくらいの湿疹、手や足も掻くようになり、全身カサカサしてくる。夜は痒みで眠られないほどになってきた。プロペト、亜鉛華軟膏と消毒液ではどうにもならないので、母乳の質をよくする為に食事を制限もしてみたが、どんどん範囲が広がっていった。

5ヶ月（1月）

アレルギー相談に行くと、小児科、皮膚科の様々な医師からステロイドは短期で使うと安全なので使いなさいと説得され、皮膚科に通いステロイドリンデロン軟膏等をたっぷり塗られた。3日ほどでびっくりするくらいツルツルお肌になる。しかし、つけるのをやめるとすぐに元通りに痒がり、汗が出るほど掻く。特に、肌につけている薬を手で触って口や目に入れなかがとても心配だった。医師からも「乾くまで触らないように。」と言われるので、毎日格闘だった。

7ヶ月（3月）

ステロイドをつけだして2ヶ月が経つが、一向に変化はない。つけている期間は綺麗だがつけない日は痒みが止まらず元に戻るのを繰り返す。医師より、「少しずつ間隔あけて薬減らしていきましょう・・・」とも言われたが全く変

化がなかった。ステロイドは身体の内部に蓄積し、中毒になりやめられなくなる、と聞いていたので、小さい息子の体内に毎日大量のステロイドが入っているのではないかと、とても痛々しく、早くやめさせたかった。

8ヶ月（4月）

漢方で治す方法がないかと探していたところ、たまたま入った自然食の店の店員さんに松本医院の話聞く。東京在住なので、HPだけでも読んだらいいよということだったが、HPを読むと、なぜステロイドがいけないのか、何故肌がカサカサしてきて汁まで出てくる状態になるのか、そして、アトピーの原理、その対処の仕方、実際に漢方で見違えるほど良くなった人の手記と、私が知りたかった様々な事が書いてあった。論文は難しいのでまだ完全には理解できていない部分もあるが、戦場に敵と味方がいて、化学物質（敵）と戦っている状態がアトピーの症状で、味方と判断し受けいれる（免疫寛容を起こす）と症状がなくなるという例えの部分は特にわかりやすかった。

また、手記には「『食事制限なし、掻きたいだけ掻けば良い』と先生がおっしゃる。」とあったので、ストレスなくできそうだと思い、実家から1時間で行けるところでもあったので、受診した。（5月9日）

急にステロイドを止めると危険。と書いてあったが、診察3日前より薬を止めていた。そして、待ち時間がとても長かったが、途中で授乳や食事もさせてもらい、やっと診察。「熱がなく、脱水症状なく、体重が減っていないかをチェックするように。」「アトピーは本人の免疫が治すものだから！免疫寛容を起こすと必ず治るから！」「細胞が賢いから体外の化学物質にシッカリ反応できているんやー！頭いい子やでー。」という言葉で、励まして頂き、「よし、絶対治したるー！頑張るでー！」と思えた。

塗り薬（紫雲膏、中黄膏）、薬湯（解毒潤肌湯）、飲み薬（何種類か調合してもらったもの）をいただいて帰宅した。

漢方薬開始！2015年5月9日～

ステロイドを3ヶ月ほど使っていたので、やはり先生のおっしゃっていたリバウンドが激しかった。3日前よりステロイドの薬を止めたので、既にリバウンドで全身赤くなってきた。頬や手足は血や汁が出る。夜も眠れないくらい掻く。

### お風呂

病院でも入れ方の説明受けたが、他の方の手記を読みながら毎日無理なく続けられるように工夫した。手作りの布袋に薬草を入れて大きなお鍋で30分煮出し、（2回）これをお風呂（少なめのお湯）に入れる。子どもを30分間入れる。薬草が入ったままの布袋もお湯に浸けて、より濃度を高くする様にした。顔はガーゼに風呂のお湯をつけて優しくなでる。一回目に煎じた濃いお湯をタッパに少し取っておき、風呂上りと朝にガーゼで全身に付けた。

はじめの頃はまだひとり立ち出来ない 8ヶ月の息子を抱いて毎日30分入れるのは、なかなか大変だった。ぬる目のお湯にして主人にも協力してもらい、

15分くらいからスタートした。立てる様になり、お風呂のおもちゃで遊べる様になってからは30分の水遊びを薬草風呂で楽しんでいた。この薬草風呂はとても効果があったと思う。血や汗が出ているときも治まりが早かった。

### 塗り薬

お風呂上り、朝起きてすぐに、(できる時はお昼にも)中黄膏(黄色い塗り薬)を塗った後に紫雲膏(赤い塗り薬)を塗る。全身だったので、パジャマや布団も薬がついて洗濯してもなかなか取れない。嫌がらずに塗らせてくれたので、毎日続けられる。紫雲膏は傷の修復がとても早い!

### 煎じ薬

お茶パックに調合してもらった薬草を入れて、煎じたものを食間に飲ませる。はじめにもらったのは匂いと味がキツく、なかなか飲めない。スポイトで少しずつのませるが、まだ授乳中でもあったので母親の私が飲む事にした。少し治ってきた8月頃から違う薬草を頂く。こちらは本人がコップで適量飲む事が出来た。アトピーを促進させると書いてあったので、よく掻くが9月には汗が出る箇所は無くなった。又、はじめは身体全体に赤くなっていたが、お腹、背中、お尻は早い段階でツルツルになった。顔も頬に一部残る程度。

9月中頃と10月に風邪をひき、小児科にて鼻水止めと咳止めを処方してもらう。これが悪かったようで、しばらくアトピーの症状が広がる。

11月、手首と肘、足首と膝はよく掻いていて、カサカサ。時には血が出たりもするが、他はほぼツルツル。顔もまだ赤くなっている。冬は代謝も夏ほど良くないので皮膚の入れ替わりが遅い分、カサカサしやすいと、説明を受ける。

2016年1月、血が出て酷い時だけ薬草風呂に入る。塗り薬は毎日(赤の紫雲膏のみ)。飲み薬、飲む時に少しずつ。後一息の感じ。しばらく同じ状態が続く。薬がなくなったら病院に電話して処方してもらった。自宅が東京なのでとても助かる。ただ、先生もお忙しい間を縫っての電話診察なので、症状と質問事項は事前にメモしておいた。電話でも細かく教えて下さるのでとても良かった。

3月には顔はツルツルになる。手首足首、肘膝だけ症状が残っている。しばらく同じ症状が続くので、2016年8月に再び松本医院へ。「最後、部分的に残るのはヘルペスウィルスがあるからだ。」と教えて頂いた。ステロイドを3ヶ月ほど使っていたので最後にヘルペスウィルスが出てくるとのことで、抗ヘルペス剤の塗り薬、飲み薬、軟膏(赤、黄)、漢方の飲み薬(はじめにもらった物と同じような味)、を頂いて帰宅。

飲み薬が苦く、香りもキツイ為飲みにくい・・・ハチミツやメイプルシロップ、ジュース、お茶に混ぜて色々工夫して飲ませている。

9月、手首足首、肘膝と、まだまだ夜中に起きて掻いていて、塗り薬と飲み薬を使って治療継続中。

アトピーの原理、治る理屈を今まで聞いたことがなかった。「ステロイドでしか治せないよー。」と言っている皮膚科医はその様な説明は何一つしてくれなか

った。毒素が身体の中にあるからアトピーになる、又は皮膚が敏感で弱いから、という認識をしていた。なぜアトピーになる人とならない人がいるのか？遺伝子の問題だったと知れてよかった。それも敏感＝弱いのではなく、逆に高度な抵抗力が備わっている＝強い遺伝子だった事に驚いた。治療はステロイドによるリバウンドもあり、時間も費用もかかり、大変ではあるが、少しずつでも良くなり、アトピーに対する考え方が変わった。

身体に有害な物質をつけて表面だけ綺麗になればいいという考え方が嫌だったので、松本医院のHPに出会えた事を本当に感謝している。アトピーや病気は本人の持つ免疫で治すモノ。と教えて頂いているので、長い目で見て完治すると信じ、残りのアトピー治療をしていきたい。

ただ、免疫寛容を起こしてしまえば、体内に化学物質が皮膚から排泄できないまま溜まり、将来的にどうなるのか？という事もまた教えていただきたい。

元来、存在が知られている化学物質のうち、人体に影響を及ぼすものは厚生労働省が厳しくチェックしています。もちろん、癌を起こす発癌化学物質は、健康に影響を及ぼすような形で使ってはいけないように指導しています。

ところが、現代文明は7500万以上の化学物質で支えられていますから、それを一切除去して生活することはできないのです。本来ならば、厚生労働省は、「これらの化学物質はアレルゲンになるので、アレルギーを起こすことがあります」と国民を教育するべきですが、一切口にしません。

一方化学物質を異物と認識できない人はアトピーになることすらできないのです。しかし、アトピーにならない人達に新たな病気が出ているという事実は今のところないので、心配する必要はありません。

もともとアトピーにならない体質の人は皮膚から化学物質を排出できない・・・ということは、体内に蓄積しやすく、大きな病気にかかりやすいということなのか？

皮膚が強いからアトピーにならないわけではないのです。アトピーがどうして起こるかについては、私のアレルギーに関する[コラム](#)を読んで下さい。

アトピーにならない人は皮膚が強く、綺麗でいいなーと思いがちだが・・・  
妊娠中に何か(漢方薬等)を飲めばアトピーにならない子どもができるのか？  
よく母に、漢方薬やビタミン剤等の栄養剤をもらうが、その都度、「飲まないともたアトピーの子が生まれるよ！」と脅される・・・関係はあるのか？

あなたのお母さんは無知な人ですから、つまらない事を言っているだけです。まったく関係ありません。お母さんにもアトピーがどうして起こるかについての[コラム](#)を読んでもらって下さい。

まだまだ分からないことがたくさんあるので、先生の論文もよく読んで息子のアトピーと向き合っていきたい。

2014年12月 症状が酷くなって  
きた。 顔カサカサ、赤くなる。



2015年1月



2015年2月ステロイド使い出した。



2015年3月11日 ステロイド  
使い始めて約1ヶ月。



2015年5月10日  
ステロイドを止めて4日目。



2015年6月16日  
漢方薬を始めて1ヶ月。



2015年7月20日 21日漢方薬を始めて2ヶ月。



2015年8月16日



2015年9月6日





2015年10月8日風邪薬を飲んでしまい、再び顔、手足に出てくる。



2016年1月8日顔に少し、手足に症状が残る。





2016年3月10日顔の湿疹はほとんど見えなくなる。



2016年8月3日手足に症状が残っている。

